

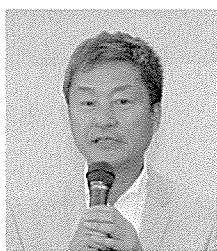
尾張南支部

尾張南支部総会開催

尾張南支部（金田英和支部長）の平成29年度支部総会が5月23日（火）午後5時から魚太郎・蔵のまち（半田市中村町）において、会員41名（委任状を含む。）が出席して開催されました。

来賓として事務局参与 安藤 均氏が出席しました。

総会は永田喜裕委員の司会進行にて執り行われ、都筑武満支部長の開会の辞後、金田支部長は「尾張南支部の総会の出席率が毎年上がり、本日も多数ご出席をいただきありがとうございます。昨年は熊本で大きな地震が



開会挨拶をする
金田支部長

あり、この地方でも自然災害が懸念される中、今年2月に約80名が出席して『災害廃棄物処理に関する行政担当者との合同会議』を開催しました。この企画は2～3年前から構想しており事務局とも相談を重ね、まずは行政の方と顔を合わせる、ということで実現することができました。今年は災害が起こった場合、私たちは何ができるのだろうか、をテーマに実践的な対応について、各社の取組の発表や討論を中心に開催したいと考えております。その結果をまとめ来年早々に、行政の方との会議を予定しておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。」と今年度の支部事業への熱意を込めた挨拶を述べました。

続いて議長の選出は、会場からの司会者一任の声により、相木 徹委員が選出され議案の審議に入りました。

■第一号議案 平成28年度事業報告承認

■第二号議案 平成28年度収支決算報告承認

■第三号議案 平成29年度事業計画承認

■第四号議案 平成29年度収支予算承認

■第五号議案 役員改選承認

第一号議案と第二号議案、第三号議案と第四号議案はそれぞれ関連するため一括審議され、全員の拍手をもって原案通り承認されました。第五号議案の役員改選は議長一任のもと提案、発表され全員の拍

手をもって承認されました。

新役員を代表して金田支部長は「皆様と一緒に尾張南支部のために、またこの地域のために、頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。」と新任の挨拶を述べました。

次に、大川和男前副支部長と都筑武満前副支部長は、20年ほど歴任された役職を後進に譲りたいとのご意志から、今期退任されることが金田支部長から発表されました。退任されるにあたり都筑氏から「委員、副支部長を通じて長い間お世話になりありがとうございました。これからは会員として協力させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。大川氏からは「これからも当協会の会員の皆様の益々のご隆盛を祈念いたします。長い間お世話になりありがとうございました。」と支部の繁栄を願う言葉を述べました。二名の方には、これまでの労をねぎらう感謝を込めた出席者全員の拍手が贈られました。

閉会の辞は大川副支部長より述べられ、総会は終了しました。

来賓の挨拶は事務局参与 安藤 均氏より「都筑副支部長さん、大川副支部長さん、本当に長い間お疲れ様でございました。また先ほど選任されました新役員の皆様方、今年度から2年間、お疲れ様でございますがどうぞよろしくお願いいたします。今年度協会の新規事業として、安全衛生関係における『平成29年度労働災害防止計画』を昨年度の11月に策定しました。また、視察研修事業は、10月初めから8日間程度、行く先はデンマーク・ドイツ、または、デンマーク・フィンランド、で計画をしておりますので、よろしくご検討していただきますようお願いいたします。」と述べました。

その後懇親会が行われ、各テーブルでは新役員が旧役員を囲みこれまでの苦労話に花が咲き、談笑が尽きない歓談のひと時を過ごしました。

■平成29年度事業計画

はじめに

昨年1月に発覚したダイコー株式会社が起こした廃棄食品の不適正転売による事案により、わたしたちの業界に対する社会的信頼が大きく失墜しました。当協会の目的である「産業廃棄物の適正な処理及び再生利用についての調査研究、研修、指導、普及等を行うことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源の効率的な活用を図り、もって県民の福祉の向上に寄与する」を再認識し、再発防止に向けた取組を推進し、信頼回復に努めていかなければなりません。

また、昨年4月には熊本県に震度7を二度も記録する大地震が起きました。当協会では、平成27年度に、『愛産協業務継続計画』を策定し、尾張南支部においては支部管内の5市5町の全ての市町と「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」を締結することができました。南海トラフ巨大地震のような大規模な地震・津波が生じた際に、東日本大震災・熊本大震災などの教訓を踏まえ、災害廃棄物の撤去・復旧作業をどのように誰が連絡体制をとってやっていくか等の課題も山積みです。平成29年2月14日には『災害廃棄物処理に関する行政担当者との合同会議』を開催しました。支部管内の5市5町全ての担当者の出席と多くの会員企業からの参加を頂き、その結果、課題がより明確になってきました。引き続き、行政機関とのコミュニケーションを密にとり迅速かつ的確な災害廃棄物の撤去・復旧作業への体制強化に注力していきたいと考えております。加えて、何よりもわたくしたち会員企業が生き残っていかなくては話になりません。今年度中に全ての会員企業がBCPの構築ができることを目標に挙げたいと考えます。そのために尾張南支部では、セミナー等を開催し、皆様と一緒に勉強していきたいと思っております。巨大地震に備えた安全で安心な地域社会づくりへの貢献は支部会員の皆様のご協力なくしてはなしえませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。

尾張南支部として、楽しく参加でき、いろいろな情報、知識の向上を図れるような事業を企画して参りますので、皆様の積極的な参加と、ご指導ご鞭撻

ご協力を本年度もよろしくお願いいたします。

本年度の事業計画は以下の通りとします。

1. 重点活動事項

(1) 適正処理秩序確立活動の推進

行政機関及び協会との連携を密にし、情報交換を始め諸施策の支部会員への周知徹底を図り、適正処理秩序確立活動を推進する。

(2) 会員相互交流活動の実施

支部会員相互並びに他支部との情報交換を始め、親睦・交流・協力関係を深めるための活動を実施する。

(3) 労働環境の整備向上活動の実施

安全と健康を確保し、ゆとりある生活を維持できる労働環境の向上に資する活動を実施する。

(4) 再資源化について情報提供等支援活動の実施

資源の有効活用・地球環境保全の見地から、廃棄物の再資源化に係わる情報提供等支援活動を実施する。

(5) 関係団体、各種行事への積極参加活動の実施

関係団体・行政の実施行事等への参加或いは支部協賛を実施し、各種行事への積極的な参加活動を実施する。

(6) 研修事業

会員の知識向上を図るため法令講習会・見学会等を開催する。

また、事業継続計画（BCP）セミナー等を開催する。

以上基本方針に基づき本年度の事業を実施いたします。

■平成29年度・30年度 尾張南支部役員

支部長	金田 英和	サンコーリサイクル(株)
副支部長	相木 徹	オオブユニティ(株)
副支部長	中嶋 久則	久栄運輸(株)
会 計	新井 栄済	(株)上野清掃社
委 員	平村 成一	(株)テクア
委 員	永田 喜裕	(株)エイゼン
委 員	木村 照始	豊田ケミカルエンジニアリング(株)
委 員	尾之内健統	(株)日誠
委 員	都筑 章	(株)野間砂鉱業所
委 員	瀬戸 雅也	協材碎石(株)